

## **FIT（固定価格買取制度）とは**

# 01

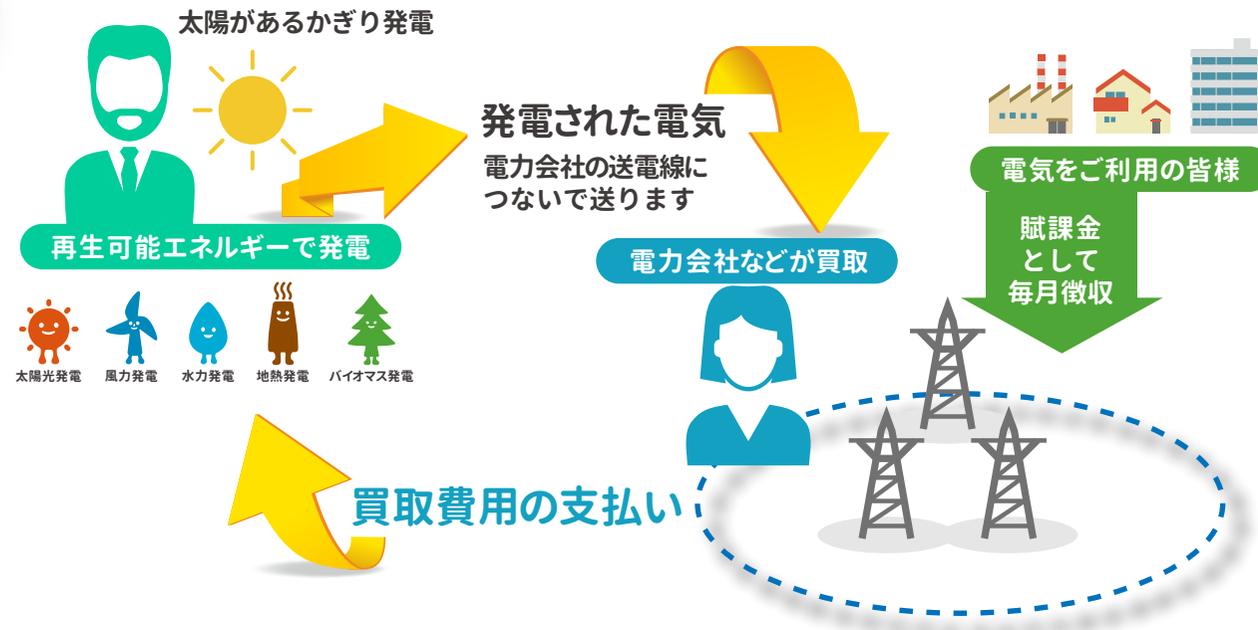
**FIT= 固定価格買取制度とは、  
再生可能エネルギーの普及拡大と価格低減の目的で設けられた  
助成制度です。**

- FIT とは、Feed-in Tariff の略で再生可能エネルギーを導入した際のコスト負担を買取価格に「入れ込んだ料金体系」ということで、一般的には、**全量固定価格買取制度**と訳されています。
  
- FIT 制度は、世界 50 カ国以上で用いられてますが、日本では 2012 年 7 月に『電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法』の成立により施行されました。
  
- FIT 制度の特長は、20<sup>※</sup>年間、毎月、一定の価格で電力会社が発電された全量を買い取ることが義務付けられている点です。すなわち、運転開始の 20 年後も開始時と同じ安定した収入が得られることを国が約束しているものです。

※買取価格は、許認可を申請した年度ごとに決まります。この説明は一般的に「低圧」と呼ばれる 10kW 以上 2,000kW 未満の産業用太陽光発電に関するもので、1kWh あたりの価格となります。そのため、通常は「FIT 単価」と呼ばれることが多いです。

# 02

## FIT= 固定価格買取制度の仕組み



- FIT 制度の財源は、一般家庭や企業など電気を利用するすべてから「再エネ賦課金」として毎月徴収されています。すなわち、20年間変わらない一定の価格を国民全員で支えている＝全員参加で再エネ普及拡大を！というわけです。

※2019年5月以降の再エネ賦課金の単価は「2.95円/kWh」となっています。

# 03

## FIT= 固定価格買取制度が投資として注目されているのは

- FIT 制度による太陽光発電投資が、他の投資商品と最も異なるのは、「20 年間、運転開始年度の単価で全量を買って取ってもらえる」ことが法律で約束されている点です。すなわち、20 年後も売電収入の額が変わらないという安定性です。
  
- この安定性により、金融機関も融資がしやすく、たとえばフルローンのような購入時に手出しがない取得も選択可能です。ローンのシミュレーションで、<sup>\*</sup>年間返済額を年間売電収入内に収めれば確実に収益は残ります。
  
- FIT 認定太陽光発電は、たとえ 20 年後になっても売電収入が変わらないという点が注目されているポイントです。価値低下や入居不安のリスクがある不動産投資をはじめ、景気や為替の変動に左右されるリスクがないことは、近年、不測の事態の影響を受けない投資商品として大きく注目を集めています。

※ローンの組み方によりますが、月次でみるより年間スパンでみるほうが安定性や利回りは確度が増します。